



# 美香保中だより

発行 札幌市立美香保中学校

住所 東区北17条東6丁目1-1

電話 (011)-7 1 1 - 8 1 5 1

## 立ち止まって考えてみる

校長 中川 清志

世界を揺るがす予期せぬ厄災のなかであっても、いつも通りに刻まれていく時のうつろいに、当たり前前にできていたかつての日常の意味が際立って感じられた一学期でした。生徒たちの賑わいや笑顔はあつた、その息づかいすら感じられない日常にとって代わってしまったことはつらい経験でした。2学期がスタートしました。新型コロナウイルス感染防止の対応を継続することはもちろんのこと、生徒たちが生き生きと学ぶ日常づくりを第一に教育活動を創り上げたいと思っています。

昨年の開校 70 周年を契機に、スローガン「共に創る 豊かな学び」を掲げ、“つながり”づくりを核として学校経営を推進してきました。それぞれが異なる価値観、考え、行動様式をもって我々は生活しています。自分と違うことに苛立ちたり否定したりする前に、少し立ち止まって、それらに至った背景や経緯を相手の立場になって考えてみる。自分との接点はないかを探ってみる。それらのことを「つながり」の契機としてほしいと願っています。

9月から“共に創る”活動が本格化します。まずは先陣を切って3年生が修学旅行へ。旅行的行事後の10月には学校祭。それらは臨時休業中のある時期には、あきらめざるを得ないと覚悟した行事です。

行事だけではなく、多くのことを一旦立ち止まって考え直さなければならない時期でした。2学期の活動は、「内容や取り組み方を変えてでも、美香保の“共に創る”大切な営みを守る」という思いのもと、この時期に企画し直したものです。立ち止まって考えなければならない時にこそ、本当に大切なことが改めてはっきりと見えてくるのだと、実感しました。

考えてみますと、コロナ禍の経験は、人類としての生活の仕方を考え直す機会を我々に与えてくれたのかもしれませんが。地球上に存在するあまたのウイルスがその生態系の中で宿主を得て生存していた安定的な体系を我々人類だけの都合による進歩や開発で崩すことによって、入ってくるべきではなかった人類に宿ることとなったのかもしれませんが。改めて立ち止まってこれからの歩み方を考えなければならぬでしょう。

身近な人たちとの関係、自分と社会、その中での自分の将来の在り方、ひいては人類と自然との共存などにまで視野を広げ、自分なりの“つながり”を築きながら豊かに学んでほしいと願い、「共に創る 豊かな学び」を推進していく所存です。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

## 「2学期に向けて」 1年生代表のこぼ (始業式で発表しました)

今年は、新型コロナウイルスの影響で、普段よりとても短い夏休みになってしまいました。皆さんは夏休みを楽しく、充実したものにできたでしょうか。僕は、夏休みにはエアトリップやシーカヤックなど、今までしたことのない体験をすることができ、とても楽しく過ごすことができました。そんな貴重な夏休みも終わり、今日から2学期が始まります。1学期の学校生活を振り返ると、学級代表を務めるなど、様々なことに挑戦しました。今回このように2学期の抱負を皆さんの前で述べることに挑戦することや、色々な経験を積むことができ、少しずつ中学生としての自覚をもつことができました。しかし、反省点もあります。昼休みに密になっていたことや、当番を忘れてしまったことです。

2学期には1学期の反省を生かし、楽しい学校生活を送るためにも、自分自身が密にならないように気を付け、周りに密にならないよう注意することもしていきたいです。また、当然ですが当番を忘れないようにすることを心がけ、忘れていそうな人がいれば声かけをし、学級のみなをまとめていきたいです。1学期以上に勉強にも励み、僕たち1年生にとっては初めてとなる行事もあります。せっかくの行事なので、仲間と協力しながらできるだけ自分から様々な事にチャレンジをして、充実した学校生活を送れるよう頑張ります。

# 旅行的行事に向けて

～先生方の思いや願い～

## ◆野外学習 9月16日(水) 芸術の森美術館

野外学習に込める思い

1学年代表 伊藤 雄一

2学期が始まり、2週間が経ちました。例年になく暑い2学期の始まりとなりましたが、すぐに1学期に見せてくれたような元気な姿が教室に戻ってきて、安心しています。9月16日には、中学校での初めての旅行的行事、「野外学習」行われます。社会状況や子どもたちの安全を考え、今年度は札幌芸術の森野外美術館でのグループオリエンテーリング、学年レクリエーションを計画しています。新しい生活様式に合わせながらも、生徒が協力しながら、お互いのよい面を見つけることができる一日としたいと思っています。なによりも、小学校の卒業式から入学式、1学期と様々な場面で我慢をさせてきた子どもたちが、広大な自然の中で楽しい中学校生活の思い出をつくってくれればと思います。

## ◆宿泊学習 9月8日・9日 富良野・旭川方面

『多くの発見と感動、

そして成長につながる2日間に』

2学年代表 大関 靖

2年生は9/8、9の2日間の日程で、上川方面の宿泊学習に出かけます。1日目は富良野チーズ工房でアイスづくり、富良野自然塾で環境プログラム学習を体験、2日目は自分達で立てた計画に沿って行う旭川市内自主研修を行います。コロナ禍で色々と制約がある中、学年テーマ『導火線』を合い言葉に準備を進めてきました。活動の中では、昨年度には見られなかった積極性や計画性、協力性が随所に見られ、生徒達の確かな成長を感じています。たった2日間ですが、多くの発見と感動、そしてたくさんの笑顔に出会う旅となることを願っています。全員が元気と笑顔をお土産に帰宅できるように全力でサポートしていきますので、準備等ご協力、ご支援の程よろしく願います。



## ◆ALT (英語指導助手) に関するお知らせ◆

7月から本校で英語の授業に協力していただいた Shradler, Annah Lauren さん (アナ先生) が8月28日をもって離任されることになりました。9月からは Ethan Wearn (イーサン・ワーン) さんがALTとして本校に着任します。

## ◆修学旅行 9月1日～3日 函館・ニセコ方面

「できない」よりも「できる」ことを探す旅に

3学年代表 村上 志行

情報化社会となった現代では、テレビやインターネット、SNSなどが普及し、ほしい情報や品物をすぐに手に入れることができます。そんな、“なんでもできる便利な世の中”だからこそ、「できない」ことに不満ばかり言う社会になってしまっているようにも感じます。

昨今のコロナ禍で、売り上げが下がって経営状況が苦しい企業や飲食店などのニュースをよく目にします。しかしながら、「できない」ことが多い厳しい状況の中でも、様々な工夫やアイデアで困難を乗り越えている人もたくさんいます。

3年生の生徒には、「できない」ことに不満を言うよりも、「できる」ことを探して挑戦する。そんな前向きな行動力を身に付けてほしいと思っています。度重なる休校、9日間しかない夏休み、行事の変更、削減…と、今回のコロナ禍は、3年生にとっては不利なことばかりのように見えます。しかしながら、見方を変えれば、「言われたこと」、「与えられたこと」をしっかりできる「よさ」をもっている3年生の生徒が、様々な工夫やアイデアで「できる」ことを探し、自らの力で困難を乗り越える力を身に付ける、“レベルアップのチャンス”でもあると考えています。

1年生で北海道胆振東部地震を経験し、2年生の終わりから新型コロナウイルスと、激動の中学校生活を送ってきたこの学年の生徒が、これまでのどの中学生よりもたくましい力を身に付け、これからの日本を支えていく力になってほしいと願っています。「東北に行けない」ではなく「函館で何を学ぶか」、「函館は度も行っているから」ではなく「新しい函館の魅力を見つけてみよう」と、「学び」や「楽しい」を自分で見つけてほしいと思います。そして、スマホやゲームに頼らなくても、自分と仲間ので「楽しいは自分から」を実現し、一生の思い出となる修学旅行にしてほしいと思います。

## ◇ 教育実習生の紹介 ◇

市村 天 (イトウ マネ) さん

北海道教育大学札幌校はじめまして。このたび札幌市立美香保中学校で教育実習をさせていただくことになりました。5週間の実習期間の中で、担当教科である理科の楽しさを伝え、信頼関係を築けるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。